

令和2年 地域懇談会（山田中学校区）

I 期日：令和2年11月30日（月）

会場：山田市民センター

II 開会時刻：19時00分

閉会時刻：20時30分

III 会議内容

1. 開 会

2. 説 明 （学校教育課長 教育総務課長より）

3. 質疑応答

（参加者）GIGA スクール構想で全ての子ども達に端末が配られる。不登校のこどもたちにも貸与されるが、オンラインで授業を受けたとき等の出席扱いについてはどうなっているか。また、義務教育学校や中等教育学校が全国にどれだけあるのか。

（学校教育課長）不登校の子どもへの端末を使用した支援については、行っていくように考えている。文科省の方針として通知もあるので、教育委員会としても、先日学校に対して通知している。出席扱いについては、学校が用意したカリキュラムに従った学習を行う等の要件を満たせば、積極的に認めていく。しかし、軽々にこれを出席扱いとすると、なかなか学校復帰につながらないといった課題もある。現時点で Zoom で家庭と学校をつなぐ取組も行っており、不登校の子どもが学校とつながることができたという例も聞いており、一つの有効な取組であると思っている。義務教育学校や中等教育学校の全国的な数については今持ち合わせていない。岡山県下では、大安寺中等教育学校がある。義務教育学校は岡山県にはないが、2022年を目指して、岡山市の山南中学校区が設置の準備をしている。2024年には美咲町で計画されている。

（参加者）3、4年前複式が始まったときにここで説明を聞いており、10年ぐらいはこの状況で後閑小学校は続いていくと聞いている。今後も児童数が減ってきて、例えば山田小学校と一緒にになるとか、そういった方向性はあるのか知りたい。

（学校教育課長）現時点ではまだ考えていない。後閑小の児童数の減り具合は課題と考えている。単純にくっつけるという話ではなく、よりよい方法を考えていきたい。保

護者のご意見を伺いたい。

（参加者）複式なので、上の子が下の子の面倒を見る。下の子が見習うなどは、後閑小のよいところである。良さも分かっているが、さみしい感もすごくある。昨年山田小学校と交流したときに人数が増えるので、交流が楽しかった。今年はできていないのでさみしかった。メリットとデメリットの間で保護者としても、どっちがいいだろうという思いはすごくある。

（学校教育課長）できれば保護者の方々と議論いただきたい。

（参加者）ぜひ、そういう機会を設けていただきたい。また、発達障害についてのこともある。少人数だから後閑小に来ているという方もいる。後閑だから手厚く見てもらえるという意見もあり、そういった立場からの意見もあると思うので、そういう機会をもってもらいたい。

（参加者）こういう会をして、話をしているが、10日後ぐらいに議事録をもらいたい。消防の時にフォローがなかった。どうなっているか聞くと、何ヶ月後になってくれた。説明と要望事項について。何ヶ月後にもなると分からなくなってしまう。今日の議事録についても10日ぐらいの後にまとめて、みなさんに送ってもらいたい。

（教育総務課長）10日間というところはなかなかお約束できないが、取りまとめたものを何らかの形でみなさんのもとに届けたい。例えばセンター経由や、インターネット上にアップするなど検討させていただきたい。議事録を公開することについてはお約束する。

（参加者）教育委員会の皆さんは市役所の前の児童憲章についてご存じか。よい文章である。第9項に、「全ての児童はよい遊び場と文化財を用意され、悪い環境から守られる」とある。この山田小学校区には、玉野市の公共の広場が無い。公園も無い。そういったところをご存じではないか。

（学校教育課長）その点については、聞いており、市長からも話を伺っている。

（参加者）子どもの時から親子で遊ぶ広場が無いのがここの一番の弱点である。他の場所はブランコ・滑り台などすべてある。宇野8丁目など道沿いに2つもある。無いのが当たり前か。今まで気づかなかったのか。またしようとならないのか。他の地区と比べて公平度が落ちているが、その点についてどう考えているか。

（教育総務課長）そういった公園とか広場はあるべきものと考えている。公園広場を整備するところを所管しているのが都市計画課になるので、そういったご意見があるといたことは責任をもってお伝えさせていただく。

（参加者）今まであるのかないのかを知っているのかを聞いている。児童憲章に文言が

あるにもかかわらず、教育委員会としてよい遊び場があるか無いか、そういったものが山田地区に無いと言うことを知っているかどうかを聞いている。

(教育総務課長) 把握はしている。整備については教育委員会ではできないので、都市計画課に話をもっていく。

(参加者) 地区の有志でボランティア活動を行っている。悲しいことに場所を一年契約で借りている。子どもたちの広場が無いので、そこを借りて子どもたちを招待して芋植えを行っている。何年借りられるか分からない状態である。将来的な見通しがもてない。そういったことも、地域で子どもを育てるといった観点から、是非とも広場が必要である。今後の方針や考え方を教えていただきたい。

(学校教育課長) 今お伺いした土地を借りるといったことについては、おっしゃることも分かるので、今後調べてよい方法が無いか考えてみる必要がある。

(参加者) 先ほど義務教育学校の数聞いたが、ネットで見たところ、全国で100校足らずである。小学校・中学校は合わせて30,000校ある。そのなかで検討されているのが100校足らずである。2年後に山南学区で義務教育学校ができるという話だが、拙速に話を進める必要はないと感じる。メリット・デメリットを見極めた上で、義務教育学校や統廃合について私も後閑なので、どうなるのか心配している。学校は子どもを中心に、保護者や教職員も主人公である。だが、学校はやはり地域のコミュニティとして大切にされている。老人会やそういった方々の気持ちや今までの地域の方々に育てられたものである。なので全ての方の意見を慎重に聞きながら進めていく必要がある。後閑に限らず玉野市全体で言えることである。人口は減っているので、みんなで知恵を出し合って考えていきたい。拙速に進めるものではないと思う。

(学校教育課長) 義務教育学校はまだ出たばかり。そんなに簡単にできることではない。お金も大変かかるものである。これから10年、20年をかけてどういった形になっていくか考えていくものである。義務教育学校は、連携教育の到達点であるという点でご紹介したものである。統廃合等については、様々な考え方がある。保護者の方々が不安に思うというのも分かるので、しっかりと話し合う場を設けながら、少しずつ考えていかなければならない。

4. 閉 会